

大きく変わる学校

スーパーサイエンスコース、中1から開始

昭和女子大学附属昭和中学校



昭和女子大学附属昭和中学校は幼稚園から大学院までを擁する総合学園の中高一貫校です。文部科学省からスーパーイングリッシュランゲージハイスクール(SELHi)やスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、2016年からはグローバル留学コースを新設、さらに2019年秋にはキャンパスにアメリカのテンプル大学日本キャンパスが移転して交流が始まるなど、グローバル色が強い学校ですが、3年生からの選択でスーパーサイエンスコースも設置しています。2021年からスーパーサイエンスコースを1年生からの募集とし、パワーアップしていくことになりました。

1. 現在のスーパーサイエンスコース

2018年からのコースで、グローバル留学コースがスタートした2016年の入学生が3年生に進級したときに誕生しています。理数系に関心がある、理数系の進路に進みたい生徒のためのコースで、理数系の授業を増やしたほか、昭和女子大学や2017年から特別提携校になった昭和大学の研究施設を積極的に活用し、実験・実習を重視した授業を展開しています。また、週2時間はUCLAバークレー校が作成した、科学的な課題を発見し、自分たちで解決策を考えるプログラムを実施、さらに屋久島でのフィールドワーク研修など、実践的な活動にも力を入れています。

2. 生徒たちの成長が学年拡大に

スーパーサイエンスコースは現在1期生が5年生(高2)です。生徒たちは理数分野への興味・関心をさらに深め、専門性の高い内容も少しずつ身に付けてきました。同時に、生徒たちの成長は、担当する提携大学の先生方や本校の教員に、「もっと深く学ぶことで、さらに生徒たちの力を伸ばすことができる」と確信させることになりました。そこで、入学段階からのコース設置に踏み切ることにしました。

3. 2021年からのスーパーサイエンスコース

2021年からスーパーサイエンスコースを1年生から1クラス設置します。他の本科やグローバル留学コースよりも理数系の授業時間数が多く、演習を増

やします。STEAM教育(Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics)の考え方で生徒同士が互いに刺激しあい、高度な学びを進めます。

1・2年生ではプログラミング基礎、科学的分野の個人研究などに取り組むほか、全校で取り組むボストン研修では、このコースの生徒は特にハーバード大学自然史博物館、マサチューセッツ工科大学などの見学も予定しています。1年生で数検4級、2年生で3級取得をめざします。

3・4年生ではスーパー・サイエンス実験・実習を積み上げるほか、本格的に大学連携理数プログラムが実施されます。専門家による最先端の学びです。また、屋久島でのサイエンスアドベンチャー、選択制の国内外研修旅行で、現地に出向く調査・研究に取り組み、個人ごとの探究活動を進めます。3年生では数検準2級取得を目標とします。

5年生では大学連携理数プログラムや個人の探究活動をさらに深めるほか、医・薬・看護をはじめロボットやAI関連など、個人の希望分野に基づいた選択授業を開始、6年生では進路希望によって、多彩な選択授業を組み合わせ、受験準備を行います。

4. コース移動について

入学後の希望の変化に対応して、クラスの定員と本人の成績をもとに、進級時にコースの移動が可能です。